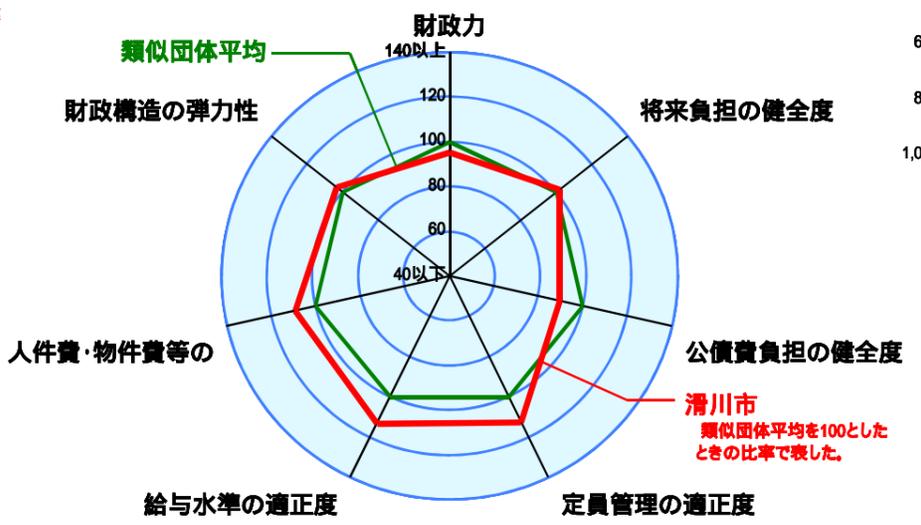
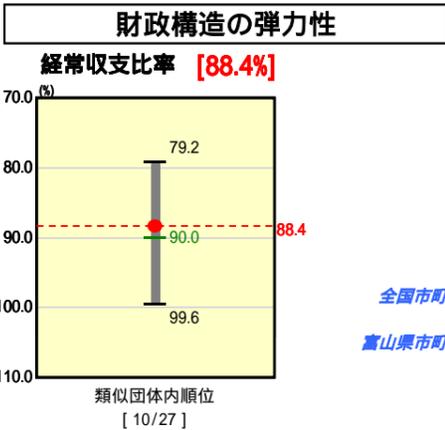
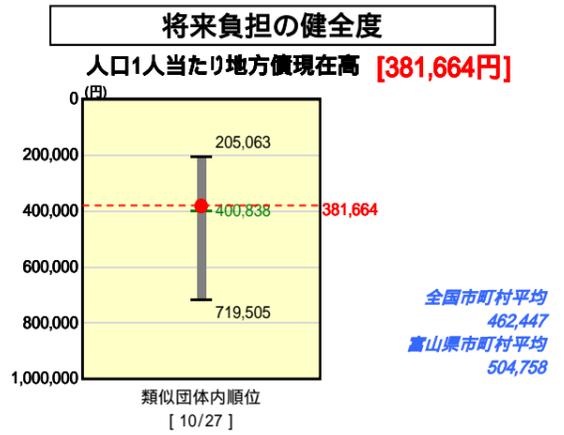
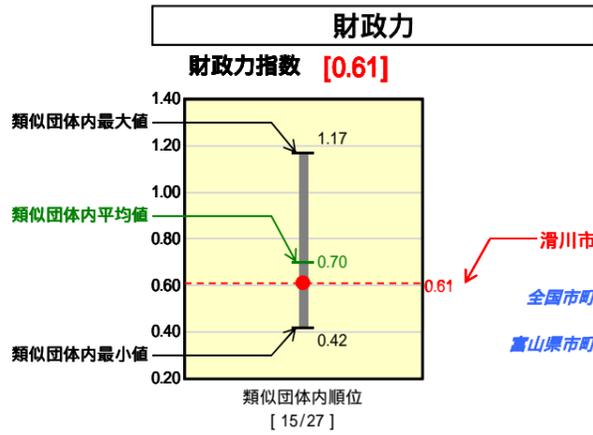


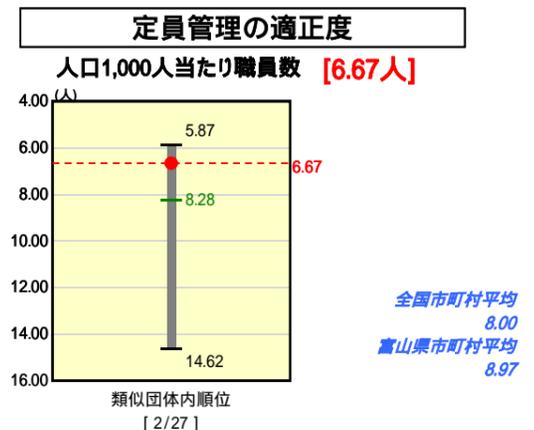
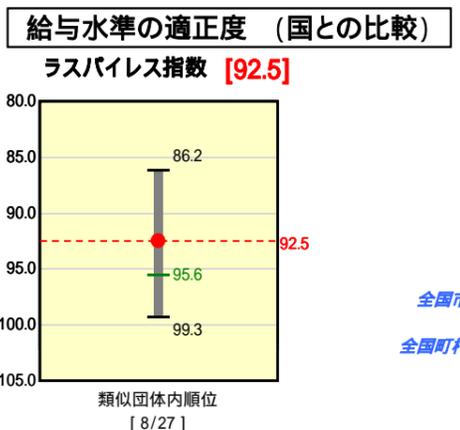
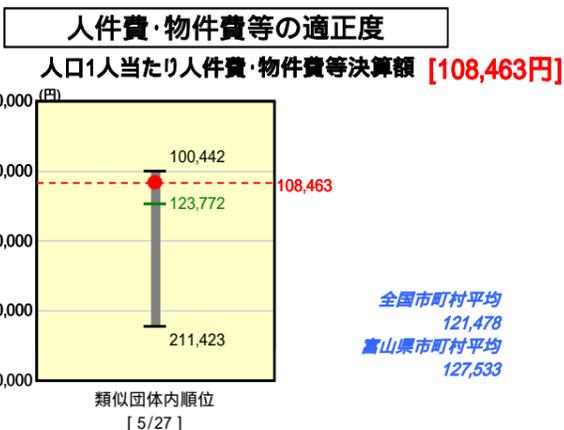
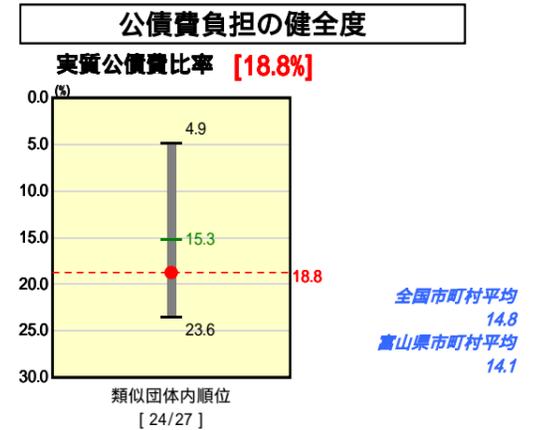
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

富山県 滑川市

人口	34,204 人(H18.3.31現在)
面積	54.61 km ²
歳入総額	12,885,771 千円
歳出総額	12,191,815 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
本市の財政力指数は、全国平均・県平均よりも高い10.61となっている。これまで、歳入面では市税等の収納率の向上に努力を行っているところであり、歳出面の補助金等の整理合理化、事務事業の整理見直しなどを合わせ、徹底的な行財政改革をおし進め、今後とも財政基盤の向上に努める。

経常収支比率
経常収支比率については、全国平均を1.8%下回っているものの、一部事務組合に対する補助費や公債費の増により、前年度数値86.8%に比べ僅高している。「集中改革プラン」による新規採用の抑制による人件費の減や公債費の通減等を合わせ、経常経費の削減に努める。

実質公債費比率
実質公債費比率については、18.8%と平均よりも高い数値となっている、平成8年、9年にかけての地域総合整備事業債の償還がピークを迎え、さらに下水道事業への繰入金増、一部事務組合への負担金増によるものと考えられる。平成19年度以降においては総合計画に基づき想定し得る起債事業等を加味しても元利償還金は総じて減少に転じると考えており、実質公債費比率については、低下するものと考えられるが、地方債の発行にあたっては、財政状況を勘案しながら抑制していく。

人口1人当たりの地方債現在高
地方債残高については、年々減少を続けているところである。全国平均、県平均を大きく下回る数値となっているところであるが、